

社団法人静岡県看護協会

Shizuoka Nursing Association

KANGO

5

SHIZUOKA



三島社会保険病院3階病棟の皆さん



NEW看子です
よろしく
お願いします

- 平成17.18年度新役員紹介
- 看子ちゃんの外国語講座(韓国)

第12回理事会報告

平成17年3月17日

出席者：榊原会長・香内副会長・内藤副会長・土屋副会長・相澤常務理事・鈴木常務理事・
宮地理事・小田理事・小長井理事・荒尾理事・岩倉理事・岩崎理事・北山理事・白井理事・
杉本理事・島中理事・渡辺理事・中山監事・本多監事・白松連盟支部長・床原事務局長 計21名
欠席者：佐藤理事・守屋ナースセンター所長

協議事項

1. 常任委員会・研修委員会・委員等の承認について

①6常任委員会・5研修委員会・1特別委員会の新委員候補者の推薦を、三職能委員長から受け、理事会の承認と会長の任命の手続きを経て、全委員が決定した。

各委員とその所属施設には、委員就任承諾書を依頼することになる。

新年度は先決の特別委員会を併せ、15委員会でスタートする。

②総務・教育・事業の3常勤理事が各委員会を担当し、従来の担当理事制を(研修委員会の一部を除き)廃止した。

常勤理事は、各委員会が主体的に自律性の高い活動ができるよう支援していく。

2. 准看護師修学貸与規程の一部改正(案)について

従来の規程は、県内の指定5養成施設に通学する准看護師を対象としていたが、2年課程通信制の養成施設ができたことに伴い、対象者の拡大改善案を検討し承認された。

(うら表紙のINFORMATION参照)

3. 2月総会の投書について

(1) 総会の運営について(2通)

会場の照明が暗いため資料が読みにくい。

多人数収容会場は、市民文化会館とグランシップである。

規模・催事・飲食・会館利用代金・交通アクセス等を鑑み、平成17年度2月総会はグランシップの利用を検討している。

(2) 看護協会の運営と活動(12通)

①会員証発行の遅滞(会員証が2年分まとめて送付されて来た)について

事務上の不手際により、会員にご迷惑をおかけしたことをお詫びする。

活性化計画に伴い、事務局の改革に着手した。

入会の手続きが期限以降にバラバラあるなど、事務執行上大きな弊害となっているのですぐ解決とは行かないが、なるべく早くお届けしたい。

②研修会参加費用が高い。…反対に高いとは思わない…との相反する意見

研修費は静岡市中心街への転居に伴う維持管理費の増大を味し、近県看護協会との比較で検討した妥当な額と認識している。公益的な事業の展開・高度な専門性を求める研修会等事業の拡大をしようとする時、その活動には資金と人財が不可欠である。今後の協会活動は、ますます財源の確保(会費の増額等)が必要になることをご理解頂きたい。

③地区支部と県看護協会との関係が見えない。地区支部の活動自体が見えない。

活性化5ヵ年計画の中で、地区支部支援に重点を置いて活動していくので、会員のご協力を頂きたい。ご提案のように、地区支部での研修会を共有できるように、会員に掲示することを検討している。

④研修会案内は早くほしい。

2月総会で承認された研修計画を、年度内に「教育計画」冊子に

まとめ、各施設に配送している。

また研修会の4ヶ月前には、参加募集のお知らせを送付しているので、十分な期間と認識している。

各施設内で、効果的な情報伝達方法を工夫していただきたい。また会員として、常に自ずから情報を積極的に得ることも必要と感じる。

⑤会員名簿は、個人情報保護の基に慎重にして欲しい。個人の承諾なしに安易に公表しないでほしい。

名簿のないことで、施設間協力・調査・情報交換等に支障がある>と、多数のご意見があった。

平成17年度より、最小限の公的情報を「会員施設名簿」として作成し、施設責任者のみに送付する予定である。(3月31日までの入会者に限る)

4. 「静岡県訪問看護ステーション協議会」事務局の拡充による貸付面積増について

現在当該事務局に、看護協会会館の一部貸し出しをして協力体制をとっているが、事務量の増大で非常勤職員を一人増やすことになりその要請を協議した。「一年毎の期限付き契約」で増を承認した。

5. 平成17年度「看護研究発表会」について(看護研究委員会より提出)

「看護研究発表会」は、10月の「東海北陸地区看護研究学会」と併せ例年通り行う計画であったが、運営委員が半数以上改選となったことや、2本立てでは発表数が十分確保できない危惧があり、「東海北陸地区看護研究学会」一本にする方向で協議していきたい旨の提案である。

審議の結果、総会で予算上程し承認されたものの、実行不確実の要素を予測しながらあえて強行に行うべきか。むしろ、他県からお迎えする「東海北陸地区看護研究学会」の充実を図ることに重点を置く方向で進めるのが得策であろう。

引き続き運営委員会で検討していく。

報告事項

1. 平成17年度「日本看護協会会長表彰」者3氏決定(総会で受賞予定)

岩倉五月氏・大下悦子氏・神谷郁子氏協会活動への長年のご尽力に感謝する。

2. その他 省略

後記

「簡潔に分かり易く」を目標に、理事会報告を掲載した。振り返れば常務理事として、看護協会の果たすべき役割を問う2年間だった。

私共看護協会は専門職団体として、本業の資質向上への努力はもとより、政治・経済・社会・文化等に深く関わる必要が、看護者だからこそ必要だと強く思う。

今回をもって今までのご支援に感謝し、理事会報告を終了する。

常務理事 相澤 玉枝

定年退職後等看護職員セカンドキャリア開発支援研修会報告

開催日：平成17年1月28日、2月1日、2月2日、2月24日

受講者：67人

「セカンドキャリア支援事業について」講師：奥村元子氏（中央ナースセンター業務部長）

〔講義の概要〕

看護職の就業者数は増え働く領域も広がってきている。2002年12月末厚生労働省看護課推計によると就業者数は計1,233,496名で1960年から40年の間に4.8倍となっている。

セカンドキャリア世代は54,000人であり、この世代の引退時期を迎えるが、この年齢層の看護職資格の活力を活かすことは社会にとっても、自分にとっても、看護職能団体にとっても意義がある。高齢者が自分の意欲と能力に応じ可能な限り社会の支えとして働き続けることのできる社会の実現を図ることが重要であり、国も2005年から始まる税制年金の仕組みを変えるなど高齢者雇用拡大に向け取り組まれている。高齢社会を迎え、そこで期待される看護職セカンドキャリアの新たな領域としては、多機能型訪問看護ス

テーション（通所看護）、介護保険事業関連領域（要介護認定審査委員・利用者苦情対応窓口相談・介護サービス質評価者等）、養護学校等における医療的ケアの提供、

子育て支援事業（保育ママ・病児

保育・子育てサークル支援等）がある。中央ナースセンターでは、セカンドキャリア世代に活躍してもらうためのモデル事業を全国で展開しており、静岡県看護協会でも実施してもらうことができた。この研修を皆さんがセカンドキャリアに踏み出すきっかけになればと事業の期待する成果や背景についてお話をいただきました。



「今こそ、ベテランナースが求められています」講師：榛葉 由枝（静岡県看護協会 会長）

〔講義の概要〕

医療を取り巻く社会環境の変化を糸口に、療養生活の場における看護の現状に触れながら、看護職に求められる役割が、人々の生活の場に広がっていることを強調。在宅や施設内で医療的な支援を受けながら生活機能を維持するためには豊かな経験を持つベテランナースの役割が必要不可欠である。今、セカンドキャリアへの期待が高まっている。と熱く語られました。



参加者からの感想

- 定年退職後2年経ってそろそろ働こうかと考えはじめた時、タイミングよく、研修の案内をいただいた。4日間すべて受講して社会の状況や看護師の需要や自分くらいの年齢の看護師が求められていることなど広く理解することができラッキーだった。いくつかの施設や分野についてもある程度理解できたので、自分の時間も大事にしながら働ける場所を探していきたい。
- 年をとってくると自分から職場を探すのはかなり勇気がいる。働きたいと思ってもどうしても消極的になる。このような研修がありもう一度勉強してみるチャンスと思って参加した。就業でなくてもボランティアなどには参加したいと常々思っていた。同じような年齢層の人たちと話ができたとよかった。

紙面の関係で他の研修内容については引き続き掲載していく予定です。（ナースセンター所長 守屋）

静岡県看護協会リニューアル！ 平成17.18年度新役員の紹介・抱負

会 長



榛葉 由枝

【勤務先】天竜すずかけ病院
会長の役割をお引き受けして3期目を迎えます。会員の皆様と力を合わせて活性化計画の初年度の取り組みに精進する所存です。

副 会 長



番内 和枝

【勤務先】助産院エス・アール・ハウス
活性化初年度にあたり、活性化計画がどのように実現するかその行方を見定めたいと思います。

副 会 長



内藤 晴美

【勤務先】静岡県立大学医務室
存在感のある、期待に応えられる、職能団体になるよう、副会長として貢献したいと思います。

専務理事



齋藤 一路女

【勤務先】看護協会
「焦らず迷わず」をモットーに積み上げてきた30余年間の経験を生かして協会の発展に貢献します。

常務理事



鈴木 なみえ

【勤務先】看護協会
協会理念を具現化するための事業展開に積極的に取り組む所存です。

常務理事



村谷 圭子

【勤務先】看護協会
公益法人としての在り方を問われている今こそ、地域に寄与した活動の実現に取り組みたいと考えています。

保健師職能理事



宮地 良江

【勤務先】藤枝平成記念病院
保健師会員の拡大を図り、保健師の悩みを受け止め、現場に直結した活動を目指します。

助産師職能理事



小田 里子

【勤務先】個人
会員の声と職能委員が響き合う活動を行い、三職能が丸となって協会活動を行えるよう力を尽くしたいと思います。

看護師職能理事



土屋 清子

【勤務先】順天堂大学医学部付属静岡病院
看護実践の現場の視点を反映し、会員が心をひとつにして、活力ある組織活動ができるよう挑戦していきたいと考えています。



KANGO

SHIZUOKA



全区理事

白井 一子

【勤務先】 菊川市立総合病院

看護師2年課程(通信制)の開校を目指し、多くの准看護師が進学できるよう努力していきたいと思っています。



地区理事

前田 好子

【勤務先】 市立島田市民病院

理事に推薦され戸惑っていますが、微力ながら協会のお役に立てればと思っています。



地区理事

鈴木 真弓

【勤務先】 沼津リハビリテーション病院

看護職能団体としての協会に社会が何を期待しているのか、その期待に何が出来なのか考えてみたいと思います。



地区理事

吉村 浩美

【勤務先】 聖隷三方原病院

県看護協会活性化計画に協力していきたいと思っています。



学識経験理事

上島 清介

静岡県社会福祉協議会 会長



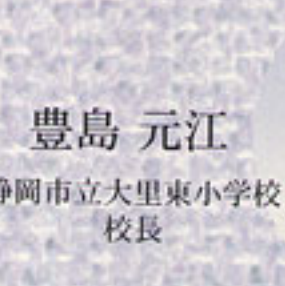
岡田 幹夫

静岡県医師会 会長



小野 森夫

共和法律事務所 所長



豊島 元江

静岡市立大里東小学校 校長



夏目 智子

静岡県男女共同参画センター交流会議 代表



平賀 聖悟

静岡県病院協会 会長



監事



畠中 智代

【勤務先】 聖隷浜松病院
一部の意見だけに左右されることがなく、真に討議を経て決定されているのかを見守りたいです。



本多 玉江

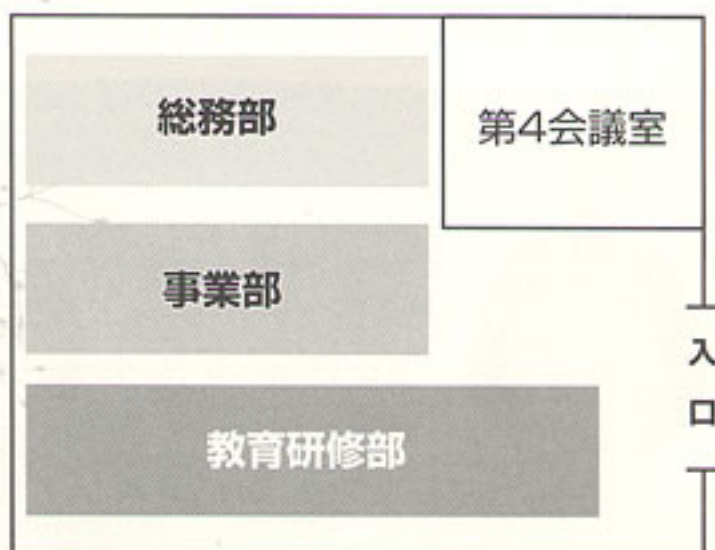
【勤務先】 (社福) 秀生会
会員の皆様が、一層期待と関心を抱ける協会に発展する運営、活動に努めます。



杉山 明喜雄

【勤務先】 杉山明喜雄公認会計士事務所
財政の状態をより良好、健全な状態にするために、監事として取り組んでいきたいと考えております。

看護協会 事務室の紹介



① 総務部

担当専務理事: 齋藤 一路女
事務局長: 床原 敬

- 経理・出納業務・予算及び決算の管理に関すること
- 総会・理事会に関すること
- 会員・看護会館の管理に関すること



② 事業部

担当常務理事: 村谷 圭子

- 訪問看護ステーション・ナースセンター・難病医療相談室の指導に関すること
- 「まちの保健室」、身体拘束廃止・訪問看護推進事業等に関すること



③ 教育研修部

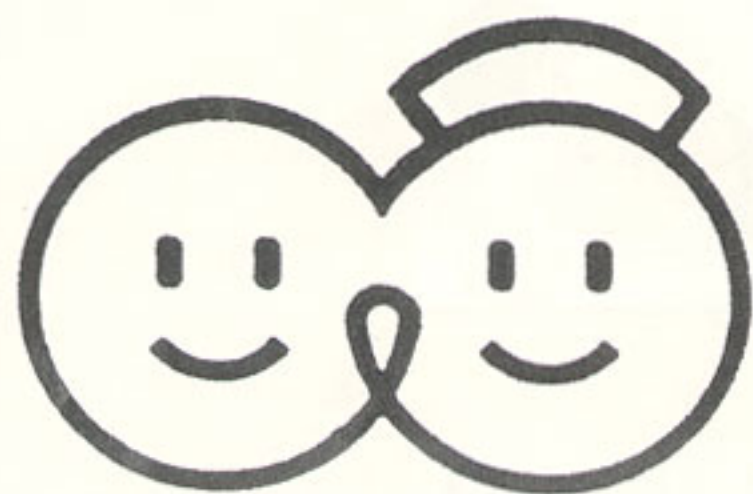
担当常務理事: 鈴木 なみえ

- 教育研修部業務の管理・運営に関すること
- 研修会の申し込みの受付け等



平成17年度5月事業予定表

	委員会	研修会	本協会・他団体	その他
1 日				
2 月				
3 火				
4 水				
5 木				
6 金				
7 土	ALS等療養支援委員会、認定看護管理者セカンドレベル教育運営及び認定委員会			
8 日				
9 月	広報委員会 「国際助産師の日」実行委員会			
10 火	常任理事会			
11 水				
12 木				
13 金				
14 土			「看護の日」イベント(沼津パレット)「国際助産師の日」(西部)	
15 日				
16 月			↑ 日本看護協会総会 ↓	
17 火				
18 水				
19 木				
20 金	看護師職能委員会			
21 土				「国際助産師の日」(東部)
22 日				
23 月	東海北陸看護学会準備委員会	↑ 教育研修「家族看護」 ↓		
24 火				
25 水			訪問看護ステーション所長会議	
26 木				
27 金				
28 土		認定看護管理者ファーストレベル教育(開講式) 災害支援ボランティアナースB研修(あざれあ)		
29 日				
30 月		認定看護管理者ファーストレベル教育		
31 火	理事会	認定看護管理者セカンドレベル教育(開講式)		



看護の心をみんなの心に

看護の日

平成17年5月14日(土)

10:00~15:00

会場：東部地域交流プラザパレット

「国際助産師の日」記念行事
～誕生に愛をこめて～



平成17年5月14日(土)

10:00~15:00

イトーヨーカドー宮竹店

平成17年5月21日(土)

10:00~15:00

サントムーン柿田川

主催：静岡県看護協会助産師職能委員会 後援：日本助産師会静岡県支部
共催：静岡県看護協会東部地区支部第3ブロック



三島社会保険病院3階病棟



三島社会保険病院は、100年の歴史があり、以前は「水の都」市内の中心地にありましたが、平成13年4月に市内からほぼ箱根の山寄りに移転しました。

入院された患者様の第一声は「まるで温泉のホテルに来たみたい!」という言葉をよく耳にします。病院6階にある展望風呂からは、北に富士山、裾野から広がる駿河湾、南には天城山、東を望めば箱根の山が一望でき、入院患者様にはこれ以上ない最高の環境にあります。



私達3階病棟は、ベッド数54床、外科を主科とする混合病棟で常に4~5科が混在しています。スタッフは看護師職員総勢26名で日々入院の多い複雑な業務をこなしています。

背が高くて頼りがいのある科長さんを中心に、経験30年以上のベテランスタッフか



ら10年前後のテキパキとリーダー業務をこなす人、また、1年目の新人も入れ、個性豊かで病棟は毎日賑やかです。

外科病棟ということから手術を通した患者様との関わりが多く、特に私達は早期離床に力を入れています。高齢の患者様が多く、離床を図るのが難しいことがあります。術後医師と症状や安静度についてコンタクトをとりながら、早い段階から離床を促します。術後の疼痛から離床に対して患者様は、消極的になりがちですが、痛み止めを効果的に使用し、なるべく患者様が前向きになれるよう援助しています。

時には患者様に厳しく接することもあります。患者様が回復するのを見るのが私達の一番の喜びです。

二藤 弘子

／看子ちゃんの／ 外国語講座



Vol.1 韓国語



看子ちゃん：こんにちは。
どこが具合悪いのですか?
안녕하세요 アンニョン ハセヨ。
어디가 아프세요?
オディガ アブセヨ?

患者：お腹が痛いです。
배가 아픕니다. ベガ アブムニダ。

看子ちゃん：ここに横になって
下さい。医師が診察します。

여기서 옆으로 누워주세요。
의사가 진찰합니다。
ヨギソ ヨップロ ヌウォジュセヨ。
ウィサガ チンチャルハムニダ。



看：食欲はありますか?
식욕은 있습니까?
シギョグン イッスムニカ?

患：はい。
네. 네.

看：よく眠れますか?
잠은 잘 잤어요?
チャムン チャル チャソヨ?

患：はい。でも、昨日から下痢を
しています。

네.
그러나, 어제부터 설사를 하고 있습니다.
네.
クロナ オジェプトソルサルウル ハゴ イッスムニタ。



医師：それについては、それほど
心配する必要はありません。毎食後、
この薬を飲んでください。

그건 그렇게, 걱정 안해도 됩니다.
매번 식후에, 이 약을 드세요。
クゴン クロケ コックチョ アンヘテムニダ。
メボン シックエイヤックウルドッセ。



看：お大事に。
一週間後に診察に来てください。

조심 하세요.
일주일 후에 다시 진찰 와 주세요。
チョシム ハセヨ。
イルジュイルフヘタシ チンチャルワジュセヨ。

患：ありがとう。さようなら。

감사합니다.
안녕히 계세요。
カムサハムニダ, アンニョンヒ ケセヨ。